

**2016年3月期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について**

2016年3月期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出しましたのでお知らせいたします。

記

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当連結会計年度 (2016年3月31日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	4,416,640	3,683,846
資本金等	759,757	331,298
価格変動準備金	76,134	81,060
危険準備金	774	2,974
異常危険準備金	957,252	1,051,399
一般貸倒引当金	1,568	1,399
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益（税効果控除前）	2,264,446	1,746,681
土地の含み損益	177,957	193,956
未認識救理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額（税効果控除前）	△ 26,319	△ 18,896
保険料積立金等余剰部分	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	—	—
控除項目	36,067	37,119
その他	241,136	331,094
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	1,310,923	1,158,459
損害保険契約の一般保険リスク(R <sub>1</sub> )	259,815	309,981
生命保険契約の保険リスク(R <sub>2</sub> )	39,092	49,827
第三分野保険の保険リスク(R <sub>3</sub> )	—	—
少額短期保険業者の保険リスク(R <sub>4</sub> )	—	—
予定利率リスク(R <sub>5</sub> )	25,588	24,447
生命保険契約の最低保証リスク(R <sub>6</sub> )	—	—
資産運用リスク(R <sub>7</sub> )	907,353	696,919
経営管理リスク(R <sub>8</sub> )	30,853	28,488
損害保険契約の巨大災害リスク(R <sub>9</sub> )	310,836	343,242
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	673.8%	635.9%

(注) 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条の2および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされています。なお、当連結会計年度については、平成28年内閣府令第16号および平成28年金融庁告示第10号の改正内容を反映しており、「(A)連結ソルベンシー・マージン総額」のうち、従来の「その他有価証券の評価差額（税効果控除前）」が、「その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益（税効果控除前）」へと変更されています。また、前連結会計年度については、当該改正内容を反映する前の規定に基づいて算出しています。

以上